

阿智村教育委員会 令和5年1月定例会会議録

- 会議日時 令和5年1月27日(金) 午後1時30分
- 会議場所 阿智村中央公民館会議室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：原 勝人
委員：熊谷 歩 委員：熊谷 均 委員：塚田宏子
【事務局】
教育次長：川上 悟（全体進行）
保育園総園長：原 満 子育て支援室長：島岡佐喜子
公民館兼社会教育係長：井原祐次 学校教育係：沖村信繁
学校教育専門主事：原 康倫 英語教育専門員：両角明浩
（欠席）学校教育専門主事：川上清宏 学校教育専門主事：佐々木豊

1 開会

2 教育長あいさつ

- 不審FAXについて
- 阿智村地区別出生数の推移について
- 長野県高校卒業生の進路について

3 議事事項

なし

4 協議事項

(1) 令和5年度教育委員会関係主要事業について

- ・保育園総園長説明
- ・子育て支援室長説明
- ・教育次長説明
- ・公民館兼社会教育係長説明

(原 勝人委員)

保育園システムの導入は保護者に情報を伝えやすくするシステムを導入することが主なのか、業務改善という説明があったがもう少し説明をお願いしたい。

(保育園総園長)

主には、保育園職員の業務改善と捉えている。保育士は書く業務が多く、起案や月案、日案等の計画、日誌等は手書きをしている。これをパソコン処理するシステムに切り替えたい。今は全部手書きで同じ内容を何回も書き写すような作業

をしているので、システムに一度入力して複数の文書にコピーできるよう、こちらをメインに考えている。子どもの出欠席の取りまとめ連絡も保護者のスマホにメールで連絡がとれるようにし、緊急通報、連絡帳代わりに保育園の様子を伝えることができるようにする。双方向で連絡がとりあえるなど業務改善を図りたい。

(原 勝人委員)

いつからの運用を想定しているか。

(保育園総園長)

目標としては、機器の選定や職員研修も必要なので年度の後半を想定している。

(原 勝人委員)

ふるさと学習実践事例集第1号は大変良くできていた。それに倣ったものなのか。1号以降の事例を集めて第2号を発刊するというイメージでよいのか、編纂方針を教えて欲しい。

(原学校教育専門主事)

初版の完成度が高く好評であったので、来年度それを踏襲した形を考えている。各校のバランスと実施学年のバランスを考えながら、一昨年の事例が3作品、昨年の事例が3作品、昨日発表した3作品ということになる。第一小と第三小は実践がまだ継続中なので2年間の実践になる。来年度新たに3作品が加わり合計12作品を掲載していきたいと考えています。

(原 勝人委員)

学校給食において食材の値上げにより厳しい状況ということであるが、牛乳の補助で何とかやっていると。給食費の値上げの検討があるのか、もう少し詳しい説明をお願いしたい。

(教育次長)

本年度給食費を値上げしたが、地域食材の日の回数を12回から18回に増やし値上げ分をカバーした経過がある。その段階ではこれで何年かはいけるという見込であったが、予想以上の材料費高騰の中で、20円値上げが相当という積算が出ている。先行き不透明であり、地域食材で対応できるかどうか検討したが、飯伊町村の一部で実施している牛乳代の補助、60円の半額の30円を補助したらどうかと現在検討しているところです。

(熊谷 均委員)

学校の電子黒板ですが、現在何台入っていて後何台必要なのでしょうか。

(教育次長)

本年度は第一、第二、第三小へ各2台、浪合、清内路小へ各一台の8台を整備した。来年度は各小学校に1台、中学校に7台の計12台を予定している。

(2) 阿智村第6次総合計画（後期計画）について

- ・子育て支援室長説明
- ・教育次長説明
- ・保育園総園長説明
- ・公民館兼社会教育係長説明

(熊谷 歩委員)

計画審議会の中で、民生課で放課後等児童デイサービスを村内に検討したいという話が出ていた。担当が違うかもしれないが、学校から通所するので横の繋がりを持ってほしい。

(子育て支援室長)

放課後デイサービスを利用している児童生徒や必要な家庭についての情報等はこちらも参加したり、実際にデイサービスの事業所と情報共有をしたり支援会議に出席いただいているが、公立の直営デイサービス施設を市町村が持っているところはなく、大概は社会福祉法人であったりNPO団体が施設をつくって事業運営をして受け入れを行っている。事業者が学校等の連携を図っており、そこに自治体が参加することになっている。現在の状況は事業所を利用している児童の情報共有と連携をしている。

(熊谷 均委員)

日本福祉大学自治体推薦制度で阿智村から推薦した者は受け入れてもらえるようにお願いしたい。

(学校教育係)

去年は看護学部で一人合格。今年は理学療法士を目指しているが結果はまだ届いていません。

(熊谷 均委員)

神坂学習塾に関して阿智高校の進学率は変わってきているのでしょうか。

(教育長)

授業自体とても良い雰囲気で行われている。神坂学習塾から大学や短大、専門学校への進学者は増えている。本年度は信州大学に一人合格している。高校からデータを取り寄せて報告させていただきます。

(原 勝人委員)

神坂学習塾の受講率 31%から 40%というのは学校全体の数字のようですが、阿智中学校出身の生徒に限定した数字ではないということでしょうか。

(教育長)

ここで想定している数値は、全校生徒の約 4 割の生徒が神坂学習塾で勉強してくれればとの期待値。阿智中学卒業生に限定すると在籍割合が学校全体の 15%から 20%と僅かになってしまうので、地域高校の育成・振興という意味合いでも捉えている。

(原 勝人委員)

阿智村の総合計画なので成果指標として問えるのかなという気がしました。

(原 勝人委員)

チャレンジゆう A c h i では子供絵画教室を実施しているが、じっくり座って落ち着いて取り組めないお子さんの放課後の居場所づくりを求められたり心配されたりするお話を聞いている。村として学童とかいろいろなシステムがある中で、そういう活動をしている民間を支援していくという姿勢を持ち充実を図っていく

ことが大事だろうなと思いました。公民館でこども食堂を実施しているが、場所を提供するなど教育委員会でも支援をしていると思いますが、先程来貧困家庭の問題も出ています。教育委員会としてこども食堂に関わるのか、民生課が支援するものなのか、わかれば教えて欲しい。

(子育て支援室長)

教育委員会としては研修会であったり、補助金に関わる連絡であったり、県の会議等の通知やチラシを渡したりと協力できるものは協力する。今後、新しいこども家庭庁の計画や行政の民間への支援が具体的になってくれば、その時点で検討していきたいと考えている。公的な団体からの支援物資や食料支援を申し込まれるものについては間に入って紹介させていただいたり取り次いだり、フードバンク事業からくる食材等をお配りしている。

(原 勝人委員)

学校教育の成果指標がとても高い目標を持っておられるなという感想をもちました。その具体化に向けて色々な施策を展開してほしい。

(3) 中学校における休日部活動の地域移行に関わる推進計画(案)について

- ・公民館兼社会教育係長説明
- ・原 勝人委員補足説明

(熊谷 均委員)

漠然と中学の部活動を移行していく感じであるが、それぞれ小さい所は卓球くらいで、人数が40人、50人になってくるとサッカーができるとかそういうことも考えられるのでしょうか。

(原 勝人委員)

今現在、阿南一中と阿智中にサッカー部があるが、阿智中も部員数は2名という状況で、鼎中学校と合同チームを組ませていただいている。何でも西南部地区が一緒になるのではなく、広く飯田市とか連携がある中で相談して一緒にできるところはしたりする。そういう考え方を持っているので、あまり焦らず先ず緩やかな組織を作り、いざという時に連携して組織作りができれば良いと思っている。

今、ダンスが子どもたちに人気があって取り組みたいという需要がある。そういうところを各市町村で情報共有して、できるところで一緒に発表の場を作っていくことも並行してなされるべきではないかと思う。

(4) その他

5 報告・連絡事項

(1) 各係より

- ①ふるさと学習発表会について(学校教育係)
 - ・原学校教育専門主事説明
- ②はたちの集いについて(公民館係)
 - ・公民館兼社会教育係長説明
- ③伍和公民館建設準備委員会より(公民館係)


- ・公民館兼社会教育係長説明
- ④社会教育研究集会について（社会教育係）

- ・公民館兼社会教育係長説明
- (2) 2月定例会開催日 2月16日（木）午後1時30分より
- (3) その他

6 閉会

(閉会 午後3時17分)

教育長・教育委員 署名／捺印

熊谷 歩 
黒柳 紀春 